

横 隈 行政区

横隈区長 浦 秀喜

横隈区は、江戸初期までは筑後と筑前を結ぶ主要街道に本陣があり又元宿などの地名が残る宿場町でした。街中を縦断する道の端には構口(かまぐち)が残る古い所です。隼鷹(はやたか)神社・素盞鳴(すさのお)神社・荒岩稻荷神社・如意輪寺があり、それぞれに今も元旦祭・お籠(こもり)・茅の輪・夏祭りなどさまざまな形で式典を執り行っており、神社お宮は古里を形としてとどめており今も昔も古里のコミニティの中心です。第14代仲哀天皇の伝説が残る、平成17年に創建千八百年祭を迎えた隼鷹神社の、無病息災や家内安全、五穀豊穰を祈願する早馬祭を紹介します。(小郡市指定民族無形文化財)お神酒を頂き早馬作りが始まります。良く干して柔らかくした新藁(わら)を使用して円筒につくられた早馬の芯には、稲穂・笹・大豆・塩が入っており、芯を包み込むように新藁を何重にも重ね、最後に上𦵄(うわじめ)の大綱を使い、馬のたてがみのように化粧上𦵄をして仕上げます。直径約60センチ、重さ70～80キロの大きさにまでなり、それをふたつも作るので一日がかりの大変な作業です。お昼には、かしわ飯・鯖入大根ｽﾀ・汁物・大豆煮等を頂く。子供たちも一緒です。翌週全員白装束で神事を行い宝満川禊(みそぎ)を済ませ隼鷹神社に奉納し各家を回ります。各家の戸口では掛声を掛けながら、ヨイヨイ・マツトセ・ヨイヨイ・マツトセイ オウテサンゴン 手で拍手 早馬で地面を突く。途中では勢い水をかけられ、各家では接待を受け回り終えると早馬は解かれます。藁・稲穂・大豆・笹などが配られ、上𦵄は屋根の上に置かれ各家を見守ります。各家3年に1度当番が回ってきます。

※ 構口：宿場の出入り口。道路と直角に石垣を組みその上に白壁の練塀を築いたもの。



隼鷹神社神事



隼鷹神社に早馬を奉納

力 武 行政区

力武区長 山下 修一

力武区は、三国校区の中では東南の位置にあつて、286世帯、781人のこじんまりとした行政区です。創建が承平元年(西暦931年)の竈間(かまど)神社(まさしく鎮守の森)を中心とした住居地があり、その東側には宝満川まで、南は小郡市運動公園までの広大な田園が広がっています。その面積は、55ヘクタールと福岡ヤフオクドームの3.3倍にもなります。また県道工事の造成中に小郡市内で最初に水田がつくられた跡が発見されました。弥生時代前期(紀元前300年頃)のもので、現在コンビニがある辺りだと思われます。この遺跡はその後埋め戻され、今ではどこにあつたのかさえ分からなくなっているのが残念です。しかし小郡市史や教育委員会発行の“ふるさと小郡のあゆみ”には大きく取り上げられています。今では農業法人組合力武を中心に大規模農業が展開されています。この小さな集落が、南北に走る「セタ通り」、東西の「県道本郷基山線」で4分割されましたが、住民の結束は一層強まったのが自慢です。春(グランドゴルフ)、秋(ペタンク大会)、夏まつり・盆踊り大会など区民挙げてにぎわいます。古い歴史と広大な田園風景が広がるこんな力武に「誰でん来んのー」(だつてんこんのー)。



竈門神社 大しめ縄は区民の手づくり



神社境内の小郡市唯一の水天宮



広がる田園風景 奥はイオン小郡

三国小学校区
「協働のまちづくり」通信

第16号

三国小学校区協働のまちづくり協議会

発行：平成29年11月1日
発行責任者：藤江 和男

10月4日の「中秋の名月さん」では、まん丸のお月さんを愛でることができ、秋の訪れを実感できました。最近では、2発のミサイルが日本上空を通過したり、核実験が強行されたりと「北朝鮮」が暴れだしています。日本の政治では、突然「衆議院」が解散となり、野党の離合集散が連日報道され、混沌とした状況にあります。こんな情勢の中、三国小学校区まちづくり協議会(三国まち協)は何をやるべきなのか悩むところです。さて、「三国まち協」は10の行政区からなり、5,635世帯、人口14,244人(小郡市の24%)を擁する、小郡市内で設立された8つのまち協組織の中では最大規模のまち協組織です。環境面では自然災害の危険性は少なく、学校、駅、消防署、警察署等の公共施設に近く、道路アクセスも良好であり、新規世帯の流入は活発で、幼児や小中学生が増加傾向にある、珍しい地域でもあります。



近年、地域社会では、少子高齢化が進み、共働き世帯の増加や核家族化の進行など世帯構造が変化しています。こうした中、ひとり暮らしのお年寄りの安否が確認できない、子育ての悩みを相談する相手がいない、などの新たな地域課題が生まれてきています。また、地域活動の要となる行政区の役員の高齢化、担い手不足、住民の無関心によって、さらに地域のつながりが希薄化してきています。「三国まち協」は、三国小学校区のすべての住民が参加して、住民共通の願いの実現や、地域課題の解決を図り、安全・安心・健康で住みやすく、将来への希望と生きがいを持てる「まちづくり」を目指して活動を行っています。9月23日の秋分の日には「みくに秋祭り」、「お月見会」を開催したところです。引き続き、地域の力を結集し、「三国まち協」と各行政区を核としながら、地域課題の解決に向けて活発な活動を展開していきますので、皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

三国小学校区協働のまちづくり協議会 会長 藤江 和男



「協働のまちづくり勉強会」を開催しました。三国まち協の活動が、今以上に活性化され、更には校区内により深く浸透することを願い、8月27日(日)に「まちづくり勉強会」を開催し、80人の校区民が参加しました。市役所、他校区まち協から「まち協の活動状況」の話を聞かせて貰い、併せて、参加の方々からの貴重なご意見もいただき、大変有意義な時間となりました。

三国まち協 presents

みくに 秋祭り

を開催しました！



加地市長から激励のご挨拶を
いただきました！



優雅♪奏での会♪



元気！！レインボーキッズ！



圧巻！！白鷺会！



お祭りも最高潮！お楽しみ抽選会！



ステージ

もよおし



うで相撲大会！！



大声絶叫大会！



氷早食い大会！



みくにっ子アンビシャス広場 共催

お月見会

9月23日夕方ふれあい館三国でみくにっ子アンビシャス広場と
共催の「お月見会」を開催しました。

防災部会
体験学習



地震体験車で地震の怖さを体感



三国消防出張所による初期消火訓練



楽しい水ヨーヨー釣り♪



三国小PTA OBも大活躍！！



行政区からも心強いご支援を
いただきました！



お月見会スタート♪



三国小校区 昔語り
浦区長、高田さん、草場区長、
伊藤事務局長



小郡テープの会の
皆さんによる紙芝居



ピアノ演奏
藤江敬子さん



天文スタッフの
星と月のお話

青少年育成部会長 小川 秀樹

三国まち協 青少年育成部会主催の「みくに秋祭り」が、9月23日三国小学校運動場で盛大に開催され、約1,400人の方が来場されました。ステージでは、チアダンスチーム、奏での会、レインボーキッズ、白鷺会の皆さんが、会場を盛り上げ、うで相撲大会、氷早食い大会、大声絶叫大会では子ども達が、三国っ子の底力を精一杯見せてくれました。会場では、地域の皆さん、三国小PTA OBの皆さんが出店され、子ども達はお店のゲームを楽しんだり、美味しいコロック、フランクフルト、からあげなどを頬張り、秋祭りを満喫した様子でした。また、三国まち協 防災部会による「防災学習」では、地震体験車に200人、初期消火訓練には30人の参加があり、防災の大切さを知る貴重な体験となりました。そしてクライマックスの「お楽しみ抽選会」では、来場者の歓声が三国小校区の秋空に大きく響き渡りました。今回初めての「みくに秋祭り」は、津古区、みくに野団地区、横隈区、力武区、新島区、三沢区、古賀区、三国が丘1区、三国が丘2区、美鈴の杜区の十の行政区の皆さんが一つになり、最高のコミュニケーションの場となりました。ご協力いただきました皆さん、ご来場の皆さんに心より感謝申し上げます。